

第五中学校区義務教育学校 開校準備委員会 NEWS【No.11】

令和6年2月 編集・発行 貝塚市立義務教育学校開校準備委員会

令和6年2月19日(月)、二色小学校において第11回貝塚市立義務教育学校開校準備委員会が開催されました。はじめに事務局から、学校要覧の案についての説明と閉校式・開校式の案内があり、その後、教育委員会に提出する最終答申の内容についての協議を行いました。

学校要覧について

○学校要覧とは…

⇒教育目標や教育活動の特色、年間行事予定や教室配置等、二色学園の概要を掲載した資料で、閉校式のとき出席者にお配りするとともに、開校式後は、保護者や視察等で二色学園を訪れた方々に配付します。

○学校要覧にのっている二色学園グランドデザインについて

- ・9年間を、基礎充実期(1～4年)・活用期(5～7年)・伸長期(8～9年)の3つに分類し、成長過程に合わせた教育を行っていく。
- ・具体的には、「人権」「生活・健康」「学力・キャリア」の3つを柱にした教育活動を行い、教育内容は、これまで二色小学校・第五中学校で大切にしてきたものを継承しつつ、貝塚市教育研究センターとも連携しながら最新の教育を積極的に取り入れていく。
- ・特色ある小中一貫教育
 - ①「9年間を見据えたカリキュラム」により、きれめのない、一人ひとりに応じたていねいな指導・支援を実現する。
 - ②「専科指導やティームティーチング、交換授業」により、前期課程と後期課程の教員が、互いの専門性を活かした授業の研究・実践を行う。
 - ③児童会・生徒会の活動や文化発表会等での交流など、前期課程と後期課程が「合同での活動や行事、交流」を実施する。
- ・たいちゅうし 台中市・リージョンこくみんがっこう 立人国民学校との交流を通じて、英語教育や国際理解教育の充実を図る。
- ・コミュニティ・スクールとして、学校の願いと地域の願いを共有し、学校と地域が連携・協働しながら児童生徒を育む「地域とともにある学校づくり」を推進する。

教育委員会への最終答申について

令和4年7月に設立した貝塚市立義務教育学校開校準備委員会では、教育委員会から諮問を受けた校名、校章、校歌及びその他義務教育学校の開校準備に関する事項について、慎重に審議を行い、「中間答申」「第2回中間答申」として教育委員会に提出しました。今回は、2回の中間答申を踏まえて、今後の二色学園のあるべき姿について最終答申として取りまとめました。

最終答申内容(一部抜粋)

審議にあたり最も心掛けたことは「地域の方々の意見を聞く」ことで、すべての事項について児童生徒をはじめ保護者や地域の方々にアイデア募集やアンケートを通じてご意見をお聞きし、その結果を答申に反映しました。

開校を間近に控え、開校準備委員会としての活動は本答申をもって目的を達しますが、二色学園が今後も地域の方々から愛され、保護者はもとより地域の方々との協働による教育活動を実施し、多くの方々の協力を得ながら、次世代を担う児童生徒を育成する学校となることを切に願い、結びとします。

閉校式・開校式（案）について

【 閉 校 式 】

- 日 時 令和6年3月22日（金）
 - ・開式：午前10時30分 受付：午前10時から
 - 閉式：午前11時40分（予定）
 - ※二色小学校、第五中学校の修了式終了後に行います。
- 会 場 第五中学校 体育館
- 参加者 ・在 校 生・卒 業 生（小6、中3を含む）・保 護 者（制限は設けません）
・地域住民（制限は設けません）・行政関係・来 賓
- 次第 ・開式のことば・教育長告示・市長あいさつ・来賓代表あいさつ・来賓紹介
・思い出スライドショー
・卒業生代表から
平成14年度第五中学校卒業生 鶴 直人さん（元阪神タイガース投手）
鎌苅 翔平さん
- その他 ・校歌演奏・学校旗返納・謝辞・閉式のことば
・お車でのお越しはご遠慮ください。駐輪場は運動場に設置しています。
・体育館の座席には限りがあります。あらかじめご了承ください。
※別室にて中継もいたします。
・閉校式当日は、第五中学校の施設を開放します。（午前10時～午後3時の予定）

【 開 校 式 】

- 日 時 令和6年4月12日（金）
 - ・開式：午前9時 閉式：午前9時50分（予定）
 - ※開校式終了後に二色学園の始業式を行います。
- 会 場 二色学園 体育館（現 二色小学校 体育館）
- 参加者 ・在 校 生（1年生から9年生）※1年生は式典の途中から参加します。
・行政関係・来 賓 ※保護者や地域の方々のご参加いただけません。
- 次第 ・開式のことば・教育長告示・市長あいさつ・来賓代表あいさつ・来賓紹介
・1年生入場・学校旗授与・学校長あいさつ・児童生徒代表あいさつ
・校歌披露・閉式のことば

準備委員から

準備委員会の最終回を迎え、各委員が一言ずつ、感想を述べました。（概要）

- ・最初は義務教育学校になることに反対だったが、もともと一・小・中ならば、より良い学校になるように考えることは良いことだと思う。他校がうらやましがするような学校にしたい。
- ・子どもたちも新しい学校に期待している。良い学校にしてほしい。
- ・子どもたちは前向きに捉えている。サポートする大人たちも子どもたちと一緒にチャレンジしていくことで、学校が良くなると思う。
- ・学校への理解が深まった。大人同士のつながりもでき、今後もこのつながりを大切にしていけることが、二色学園の教育活動の充実、子どもたちの豊かな成長につながっていくと思う。
- ・二色学園になって、登校しづらい子が急に「行きたい」とはならないと思うが、「自分たちで学校を良くしていける」と感じ、気持ちよく学校生活を送れるようになってほしいと思う。
- ・1クラスしかない中で、9年間関係が変わらないことがしんどい子もいる。そのような子たちにも寄り添える学校であってほしい。
- ・準備委員会のみなさんで、子どもたちの未来のことを考えることができて良かった。

これらの意見を受けて、会長が挨拶をしました。（概要）

- ・ゼロから作り上げるのは大変な作業でしたが、会議の度に活発に意見交流をしていただきありがとうございました。期待や要望等、二色学園に対するみなさんの熱い思いに背中を押していただきました。みなさんが二色学園の生みの親です。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

お問合せ：貝塚市教育委員会事務局 教育総務課 山本（Tel.433-7106）
学校教育課 永井（Tel.433-7114）

Mail kyoikusomu-h@city.kaizuka.lg.jp

義務教育学校のページ
（貝塚市ホームページ内）

